

# やまぐち ふるさと良品

山口市ふるさと納税マガジン

Magazine

2019  
VOL.11  
YAMAGUCHI  
CITY

reportage

若手作家のアトリエ

21

竹部徳真

木が生きた時間や歴史を表現する

22

有限会社 ナルナセバ

日本の伝統作業着を現代のライフスタイルに

23

アトリエ a.p.r

一点もののクオリティを大切にしたものづくり

24

ファッションクリエイト CHIZE

地域資源で新たなスタイルを創造

山口さんちの  
食卓  
返礼品で  
山口づくりの  
朝食

# 21 竹部 徳真

山口県山口市宮野 t-tokuma.com

山口市内にアトリエを構え、国内外で活躍する木工作家。  
作品「零れ日」(こぼれび)がやまぐちブランドに登録されている。

## 「木が生きた時間や歴史」を表現する

山口市在住の木工作家竹部徳真氏の「零れ日 KOBORE-BI」は、樹齢数百年を超えたアカマツの大径を素材として年輪を側面に木取りし、それを独自のろくろ技術で2~3mmという極限の薄さで削り出すことで生まれる作品だ。

アカマツは山口県木に指定されており、古くから地域の生活の中に親しまれている。松脂を多く含み、火付きがよく火力も強い。現在でも、陶芸の登り窯にくべる薪や、お盆の松明などに使われている。その油分の効果から、中からあかりを灯すと紅くアカマツの辿った年輪や木目が

浮かび上がり、見る者の感情に強く訴えかけ、護られているような穏やかな気持ちが生まれる。木が生きてきた時間や歴史を、静かに視覚化させた。作品の内部には、白金触媒(プラチナ触媒)がLEDの光源の周りに装着されており、あかりを灯すことで、熱で空気が対流し、アート作品に加えて空気を清浄する役割も果たすのだ。

山口市内にある工房を訪れ、作業の工程など説明をいただいた。工房は竹部氏がデザインし、機能的かつ洗練された居心地の良い空間だ。作業は素材である県産のアカマツの選定から始まる。削りやすい状態にするために、丸一年以上乾燥するという。その後木取りを行い、完成まで半年という時間をかけて作成する。すべての工程を一貫して一人で行うので

量産できない貴重なものだ。

地域資源を素材とした作品は、第7回やまぐち新進アーティスト大賞を受賞、やまぐちブランドの認定はもちろんのこと、経済産業省が主催する日本の優れた商品認定する「ザ・ワンダー 500」にも選出された。また、国内にとどまらずミラノ万博や、フィンランド、フロリダ、ニューヨークなど世界各地に出展され、顧客の中には世界の要人もいる。

竹部氏の作品の前にすると、まず技術の巧みに感心し、透過光に浮かぶ木目に幻想的な気分なる。そして、古材のもつ民芸的な美意識と洗練を目指すインダストリアルデザインという相反する理念の総合を目指す意欲的な試みに今後とも大いに期待したい。



# 22 有限会社 ナルナセバ

山口県山口市大殿大路246 mompekkko.com

「農作業時でもオシャレに」をコンセプトに、mompekkko プロジェクトが始まった。

## 現代のライフスタイルに寄り添う

ナルナセバは、2002年3月山口県立大学発のベンチャー企業として誕生した、企画デザイン研究室のサテライト研究機関だ。2003年に山口市の町屋再生活用事業の第一号である大殿大路の黒い瓦と壁板の建物に移転した。歴代の代表取締役は現役の大学生・院生がつとめてきた。

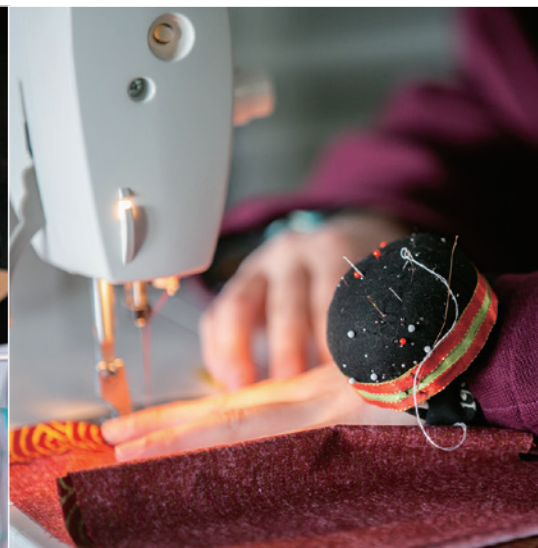
モンベッコ(mompekkko)は日本の伝統作業着「もんぺ」を現代のライフスタイルに寄り添った形に改良したのも。もんぺ特有のゆとりを残しつつ、シルエットをすっきりし、履く人を選ばない。日

本の伝統織物を持続可能なものへと再生していくためのメッセージとして山口オリジナルの縞柄をデザインし提案している。「mompekkkoプロジェクト」の始まりは2013年。企画デザイン研究室の水谷由美子教授指導のもと産学公の協働開発で学生たちも参加した。「もんぺ」、もんぺの別の呼び名の一つ「ハカマッコ」、そしてフィンランド語で「しゃれた服」という意味がある「メッコ」の3つの言葉をかけ合わせたのが名前の由来だ。

研究室では「農ガールコレクション」と題してファッションショーを6回開催、2014年にはナルナセバ(企画デザイン研究室のサテライト研究機関)を販売元としてmompekkkoレーベルを立ち上げ、オリジナルのやまぐち縞をベースに開発商

品した「モンベッコ」を発表。また、山口県立大学の学術交流協定校であるフィンランド国立ラップランド大学とのつながりで、フィンランドデザインの特徴である「自然との共生」を学ぶ学生たちがメンバーとなってこのプロジェクトを継続している。オリジナルのやまぐち縞「やまぐち縞takijima」は、日本の伝統文様の「滝縞」と自然界の数字の規則「フィボナッチ数列」を融合させた数美学を縞模様落とし込んだもの。

現在、若者による農業振興を願って農作業着の改良に始まった「モンベッコ」は、農作業着としてだけでなく、日常生活の様々なシーンに取り入れることを提案している。



# 23 アトリエ a.p.r

山口県山口市大殿大路114-1 atelier-apr.jp

着物リメイク等の一点モノ商品、アクセサリー小物の販売の他、地域活性化に繋がる衣装デザイン製作にも取り組む。

## 「一点モノ」のクオリティーを大切にしたものづくり

アトリエ a.p.r は代表の片山涼子氏ががけるブランド「a piece ryoko katayama」の古民家を再生したアトリエ兼ショップ。色とりどりの着物をリメイクした作品や、小物類が、和の空間に溶け込んで並べられている。「自身が生み出したひとかけらの作品(a piece)が、それを身につけてくれる人の体の一部のような存在(a piece)になってほしい」という想いをコンセプトに一点もののクオリティーを大切にしたものづくりを常にこころがけている。

アトリエの中にある古いアイロン、ミ

シンや時計などの多くは、涼子さんのお父様が集められたものだ。作品とこれらの骨董品たちが作り出す調和のとれた空間が、自然でとても居心地が良い。海外を訪れた経験から、日本の良さを再発見したこともこの場所にアトリエを開くことにつながった。

今回、見せていただいたのは、緋の古裂(こぎれ)をパッチワークして作ったがまぐちポーチとコインケース。伝統的な緋を使うことで、日常の生活に違和感なく取り入れられそうだ。中を開けると裏地が鮮やかで、穏やかな表のデザインとの意外な組み合わせが遊び心をくすぐる。ポーチは通帳やパスポートはもちろん、メイク用品や筆箱にも使えそうだ。コインケースも旅行用のアクセサリーケ



# 24 ファッションクリエイト CHIZE

山口県山口市仁保下郷1862-4 www.facebook.com/pg/fc.chize/

山口の地域資源とデザインを掛け合わせることで、新たなスタイルの創造に取り組む。

## 地域資源で新たなスタイルを創造

山口市を拠点に活動する武永佳奈氏は静かな住宅地にライラック色のコンテナハウスをアトリエ兼ショップとして構えている。内部は北欧風のインテリアで統一されており、オーダーメイドの洋服のデザイン・制作、イベントの企画運営なども行っている。

ライフワークとして行っているのが、地元の地域資源の掘り起こしだ。佳奈さんは、大学時代に中山間地域である山口市徳地の古民家再生事業に参加したのが

きっかけで、徳地の地域資源に興味をもつようになった。ここから生まれたのが袴パンツと徳地和紙のコサージュという2つの商品だ。

徳地の「もんべ」を研究するうちに、「もんべのルーツは袴」、「昔のもんべのウエストは紐で調節していた」等の事実を知った。もんべは、洋服の普及が広がるまで、農村地帯の動きやすい仕事着として男女共に着用する、目的に応じて複数の様式をもつ服装だった。袴パンツは、裾を縛らず、ウエストも紐で調節できる動きやすいデザインで、洋服にもあわせやすい。一点ずつ、着る人のサイズにあわせて作っていく。

徳地の特産物として、もう一つ忘れては



ならない無形文化財がある。それが「徳地和紙」だ。徳地和紙の歴史は古く、室町時代には「得地紙」と呼ばれ高い質を誇っていた。現在は後継者不足から、この伝統技術の伝承が重要な課題となっている。天然の素材を原料に、一枚一枚手漉きされて丁寧に作られている徳地和紙を使った自然な風合いのコサージュは、優しい風合いの中にも凛とした芯の強さが感じられる作品だ。

地域資源を掘り起こし、そこに光をあて、オリジナルのデザインで再生することに意欲を感じ、「山口の筆筒に眠る着物や、比較的新しいデニムにも注目している。袴パンツの作品でもデニム素材を使ったデザインも要望があれば受注したい。」と目を輝かせた。

# メイド・イン・ヤマグチの再発見・創造・発信

Artists x University



今回取材した4人の作家は、山口県立大学の卒業生や在学学生。県立大学の「地域デザイン研究所」では、山口において育まれてきた暮らしや文化の中から「地域に眠るチカラ」を探り、地域振興に活用できる「カタチ」にしていくデザイン活動を展開している。この取り組みにより、メイド・イン・ヤマグチの再発見・創造・発信を行っている。また学術交流協定であるフィンランド・ラップランド大学との連携も行っている。現在、卒業生の3人は在学中に培ったグローバルな視点と感性を生かし、母校やその他の教壇で講師として後輩たちの指導にもあたり、後進を育てている。



山口県立大学  
山口県山口市桜島3-2-1  
www.yamaguchi-pu.ac.jp

## 竹部徳真

230,000円の寄附でもらえる

666,000円の寄附でもらえる

954,000円の寄附でもらえる



01A-028 flicker  
-ゆらめくあかり-  
直径12cm高さ15cm

01A-029 零れ日(こぼれび)  
-想いの珠(しゅ)-  
直径20cm高さ20cm

01A-030 零れ日(こぼれび)  
-想いの生(き)-  
直径25cm高さ26cm

ミラノ国際博覧会への出展や、やまぐち新進アーティスト大賞受賞等の経歴をもつ、木作家 竹部徳真が手掛けたオブジェ。光を透過させるほど薄く削り出したアカマツのランプシェードと光源にLED(零れ日)またはロータリーキャンドルホルダー(flicker)を組み合わせた作品です。山口県木アカマツの大径木の希少部分を使い、独自のロクロ技術と極限の薄さにするための年単位の乾燥時間、さらに仕上げに数週間をかけて制作します。LEDの光やキャンドルの炎のゆらめきとアカマツから透ける暖かな赤い光、ロータリーキャンドルホルダーのタービンの回転とその光の反射をお楽しみください。

※写真はイメージです。希少部位の素材を活かすため、木目や透けた紅い表情は写真と異なります。



## ナルナセバ

33,000円の寄附でもらえる



01C-030 mompecco  
(モンペッコ)

日本の伝統作業着「もんぺ」を現代のライフスタイルに寄り添った形に改良した「モンペッコ」。もんぺ特有のゆとりを残しつつ、シルエットはすっきりとしたことで、履く人を選びません。ヨガ、山登り、お散歩などさまざまなシーンで履いていたいただけます。

## アトリエ a.p.r

9,000円の寄附でもらえる

6,000円の寄附でもらえる



01E-054 緋パッチワーク  
がまぐちポーチ

01E-055 緋パッチワーク  
がまぐちコインケース

アンティークの緋をパッチワークすることで、ポップな雰囲気のテキスタイルに甦らせました。がまぐちポーチは通帳やパスポートなどの収納にぴったりなサイズです。

アンティークの緋をパッチワークすることで、ポップな雰囲気のテキスタイルに甦らせました。がまぐちコインケースは、小銭以外の小物入れとしてもお使いいただけます。

## ファッションクリエイト CHIZE

50,000円の寄附でもらえる



01B-035 袴パンツ製作

山口市徳地に伝わるモンペから着想を得たオーダーメイドの袴風巻きパンツです。ウエスト、ヒップ、ご希望の丈とお好きな生地約3m(着物なら1反)をお送りください。製作後お渡し致します。

7,000円の寄附でもらえる



01E-052 徳地和紙コサージュ

県の無形文化財として登録されている「徳地和紙」。天然の素材を原料に、一枚一枚手漉きされて丁寧に作られている徳地和紙を使った自然な風合いのコサージュです。

16,000円の寄附でもらえる



01D-029 鳴滝清流米 10kg  
(5kg×2袋)

食糧庁長官賞を受賞し、「五つ星お米マイスター」の資格を持つ店主が自信を持っておすすめします。山口市小鯖地域の鳴滝源流域に広がる台地で化学肥料・農薬を30%以上削減して栽培した安心安全なひとめぼれです。容量：白米10kg(5kg×2袋)

15,000円の寄附でもらえる



01D-070 山口徳地産やまのいも  
箱入り3kg

強い粘りと濃厚な食感が特色の徳地産のやまのいも。トロロ・煮物・揚げ物、滋養強壮に効くスタミナ料理食材として人気です。※発送は、12月～2月となります。容量：3kg

13,000円の寄附でもらえる



01D-082 とくぞ味噌特撰  
詰め合わせ3kg

山口県産大麦、裸麦、大豆を100%使用して仕込んだこだわりの特撰麦みそと、お湯を注ぐだけで簡単に味わうことができるフリーズドライみそ汁のセットです。容量：特撰麦つぶみそ750g×2、特撰麦すりみそ750g×2、フリーズドライみそ汁10g×5

5,000円の寄附でもらえる



01E-003 秋川牧園の卵  
30玉セット

自然に近い環境で鶏を育てることで、品質のよい卵を追求しています。エサにもこだわり最高の安心安全をお届けします。容量：10個×3パック



もう一杯  
おかわり!

山口さんちの  
食卓  
返礼品で  
山口づくしの  
朝食

炊きたての白米に、シンプルなおかず。 地元の幸をしみじみと味わいたい。  
徳地みそのお味噌汁の具は何にしよう。  
やまのいものとろろご飯。 お米を食べて育てた鶏の卵の卵かけご飯でもう一杯。  
山口の食材づくしの朝食で、1日が始まります。

# ふるさとやまぐち寄附金 お礼の品

94,000円の寄附でもらえる

01B-030 匠山泊「ジャパン」ジーンズ



匠山泊

日本の匠が連携して生み出した10年以上継続の定番ジーンズです。世界最高レベルの素材を使用し、欧州での国際見本市でも注目を集めました。アフターフォローも行っています。※サイズは公式サイト (<http://www.syouzanpaku.jp/>) をご参照ください。

60,000円の寄附でもらえる

01B-026 【伝統工芸品】  
大内塗 大内人形25号



大内塗 大内人形25号

室町時代から続く山口市の伝統工芸品「大内塗」を代表する「大内人形」。漆を何層にも重ね、大内氏の家紋「大内菱」や、萩や菊など秋の草花がデザインされています。夫婦円満の縁起物として結婚祝い、新築祝い、お雛様として初節句の贈り物にも最適です。  
製作：富田大内塗【伝統工芸士 富田潤二】  
容量：高さ約7.5cm、桐箱入り、人形台、屏風

22,000円の寄附でもらえる

01D-093 山口陶漆器フリーカップ



中村民芸社

山口県の伝統的工芸品「萩焼」と「大内塗」を融合させた生活の器。萩焼(陶器)に漆を塗り、さらに漆を焼き付けて丈夫にしています。  
容量：直径9cm×高さ7.5cm

17,000円の寄附でもらえる

01D-002 黒毛和牛モモ・肩肉薄切  
400g



あじす牧場

平成30年度「全国肉用牛枝肉共励会」で最高位「名誉賞」を受賞した山口産ブランド牛「阿知須牛(あじすぎゅう)」。すき焼き・しゃぶしゃぶ用に薄切りにした阿知須牛は、さっぱりとした赤身でありながら柔らかい肉質と和牛の旨みを堪能できます。  
容量：400g

10,000円の寄附でもらえる

01D-013 山口市秋穂産活きあいおえび  
250g(6~9尾)【養殖】



旭水産

車えび養殖事業発祥の地「山口市秋穂」の海で育った無投薬で安心安全なこだわりの活きあいおえび(車えび)です。  
【沖縄・離島へは発送できません】  
容量：250g(6~9尾)

9,000円の寄附でもらえる

01E-020 いろいろ  
御堀堂の外郎 12本入



御堀堂

「山口外郎」は西の京山口に伝わる伝統銘菓です。「御堀堂の外郎」は、自家の特製餡に極上の国産本わらび粉を練りこみ蒸しあげて作ります。御堀堂は、古の伝統製法を唯一受け継ぐ老舗として市民はもとより、多くの皆様に御愛顧頂いております。  
容量：白外郎/黒外郎/抹茶外郎 各4本

山口市を応援して、  
やまぐちのイモノを  
もらっちゃおう!



返礼品を決める

寄附を申し込む

返礼品を受け取る

寄附金受領証明書を受け取る

税金の控除を受ける

税金の控除を受けるには、確定申告を行うか、ワンストップ特例制度の申告が必要です。

① 電話、FAX、e-mail、もしくはカタログ添付のハガキで

② WEBで検索 ▶

スマートフォンの方はコチラ ▶  
(ふるさとチョイス)



カタログの申し込みも  
随時、受け付けております。

お問い合わせ

山口市ふるさと産業振興課

〒753-8650 山口県山口市亀山町2-1

TEL:083-934-2941 FAX:083-934-2650

e-mail: info@sight-yamaguchi.jp

ふるさと納税「ふるさとやまぐち寄附金」facebook

